

性同一性障害 健康保険適用に関する要望書

平成 24 年 1 月 5 日(木)

WEB サイト:B-FREEEY(ココロのバリアフリー) <http://b-freeey.net/>

厚生労働大臣：小宮山 洋子様

◎はじめに

初めまして。私は性同一性障害であるとの診断を受けた◎◎と申します。41 歳、FTM(女→男)です。幼少時代より自分は何者であるか？性へ対する違和感を抱きながら、どこかで誤魔化し、また諦めて生きてきました。40 歳までの人生と考えておりましたが医療の進化を見て、2009 年より埼玉医大付属かわごえジェンダークリニックに通いはじめました。約 2 年間、精神科でカウンセリングを受け、昨年 7 月に性同一性障害であると診断、同年 9 月に乳房切除術を埼玉医科大学にて行いました。また同年 10 月より赤心堂クリニックにてホルモン療法を開始し、現在治療を続けております。本年中には性適合手術、戸籍の性別変更まで行う予定でおります。

◎当事者として以下の内容を要望致します。

1) 性適合手術の健康保険適用

- ・ 乳房切除術 (FTM 女性 → 男性)
- ・ 卵巣摘出、子宮摘出、尿道延長、膣閉鎖、陰茎形成術 (FTM 女性 → 男性)
- ・ 精巣摘出術、陰茎切除術と造膣術および外陰部形成 (MTF 男性 → 女性)

2) ホルモン治療の健康保険適用

- ・アンドロゲン製剤 (FTM 女性 → 男性)
- ・エストロゲン製剤やゲスタゲン製剤 (MTF 男性 → 女性)

◎現時点での各手術費用

1) 性適合手術 (受診する医療機関によって異なります)

- ・ 乳房切除術・・・約 75 万～85 万円
- ・ 卵巣摘出、子宮摘出、尿道延長、膣閉鎖、陰茎形成術・・・約 55 万～160 万円
- ・ 精巣摘出術、陰茎切除術と造膣術および外陰部形成・・・約 100 万～130 万円

2) ホルモン治療

- ・アンドロゲン製剤 約 1,000 円～1,500 円 × 月 1 本～2 本 永久継続
- ・エストロゲン製剤やゲスタゲン製剤 約 1,000 円～1,500 円 永久継続

◎要望する理由

性同一性障害特例法における戸籍変更の条件である性適合手術やホルモン治療は健康保険が適用されていないこともあり、かなり高額になります。

社会に出ている当事者は貯金をすれば何とかありますが、若年当事者および精神的苦痛で働くことの出来ない当事者は苦しい状況にいるにも関わらず手術代が高額の為、治療ができず、その苦しきから自殺念慮や自殺未遂をする当事者も少なくはありません。実際、性別違和に苦しむ15歳の方から『お金持ちでないと治療は出来ないのか?』との相談も受けました。また日本より手術代が安いタイで言葉が解らないリスクを背負って手術を受けている当事者も多くいます。

※性同一性障害における種々の問題 (1154人中)

自殺念慮：58.6% / 自殺未遂：28.4% / 不登校：29.4% / 精神科合併症：16.5%

※自殺念慮の発生時期

中学校：37% / 大学・社会等：33.3% / 小学校：12.6% / 高校：9%

(GID学会 資料より)

最近では大手保険会社も性同一性障害の手術に対する対応をマニュアル化しており、私自身も全額の約15%の給付金をスムーズに頂き大変助かりました。

※ガイドラインに準じて治療を進めている事が条件

御省が定めた性同一性障害特例法が施行され疾患であると認定されているのに、また御省WEBサイト「こころの耳」にも「性同一性障害と自殺未遂体験」という体験記を掲載し、自殺への危険性も認めているのに、なぜ？身体治療への健康保険が適用されないのでしょうか？性同一性障害特例法が施行されてから既に7年が経ち、その間に性別移行した人は2,357人もいます。

胎児期のホルモン障害や脳の性分化が原因ではないかとわかりつつある現在、単に自我であると認識せずに性同一性障害特例法の中に治療のガイドラインをセットするなど治療の正当性を国が認めて頂ければ、当事者の明るい未来や希望へ向けて道も大きく開けてくるように感じております。

ちなみに私は治療を開始してから精神的に落ち着き、とても楽しい日々を自分らしく過ごせております。ホルモン治療も3ヶ月を過ぎ、検査結果で通常の男性と同様のホルモン値がでてきました。

東日本大震災の復興に向けて大変忙しいと時期だと存じますが、多くの当事者が公平に治療を受けられる環境が整いますようご助力の程よろしくお願い致します。